

令和8年度 学生による地域フィールドワーク研究助成 中間報告書

大学等名： 富山県立大学

代表学生： 中尾 朔也

指導教員： 呉 修一

研究題目 (応募部門)	地震・津波・洪水に強い地域づくりに向けて ～地区防災の推進に向けた水害リスクマップの作成～ (研究の分野：(F)まちづくり)
研究概要	本研究では、洪水や津波の水害リスクの高い場所をわかりやすく明示した水害リスクマップを作成する。このために各市町村への現状のハザードマップのヒアリング調査や各地域の町内会の皆様との意見交換会を通じて、わかりやすいハザードマップについて知見の整理と必要な改善策の提案も行う。また洪水・津波シミュレーションを継続して実施するとともに、結果の整理方法を工夫することで、真にリスクの高い位置や車避難が必要な位置などを明示できるように取り組んでいく。開発したリスクマップをもとに、町内会の防災教室を今回も精力的に展開していく。
これまでの活動状況と 今後の活動予定 (300字程度)	現在までに、富山市および魚津市で防災セミナーを開催することができた(写真1、2)。また、7月19日には、第4回富山水災害セミナーも記載できた(写真3)。 また現状の津波ハザードマップの特徴を調査して、課題を整理することで、図1に示すようなハザードマップの作成を検討している。配色の一新・統一と津波到達時間の明示、更には避難困難区域の選定・記載も予定している。 今後も地区防災・セミナーを推進し、より良いハザードマップの提案に向けて検討を進めていく予定である。
当初予定と変更がある場合は変更点を記述ください。	令和8年8月27日の豪雨により、氷見で多くの中小河川が洪水氾濫したため、現地調査、数値解析、アンケート調査などを追加で実施している。これらもふまえて地区防災を展開する予定である。

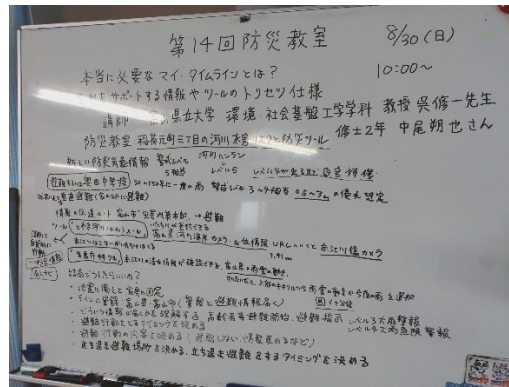
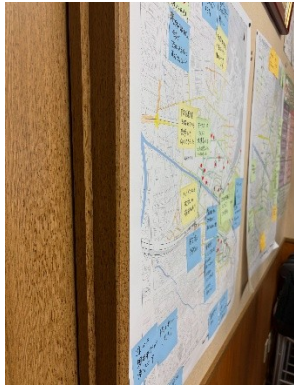


写真1 富山市稲荷元町3丁目で実施した防災セミナーのサポートの様子



写真2 魚津市地区経田地区地方1区で実施した防災セミナーのサポートの様子



写真3 第4回富山水災害セミナーの開催の様子

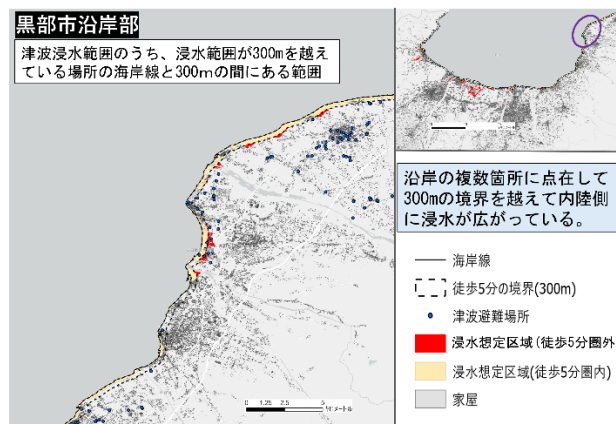


図1 検討している津波浸水マップの様子（今後、大幅に変更あり）